

令和5年5月30日

各関係機関等の長 殿

金沢大学医薬保健研究域医学系長  
杉山和久  
(公印省略)

分子細胞病理学研究分野担当助教の公募について (依頼)

謹啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本医学系における研究のミッション「次世代型病理解剖研究の確立」の推進を目指した研究組織強化の一環として、分子細胞病理学研究分野担当の助教候補者の選考を行うことになりました。

つきましては、ご多用のところ甚だ恐縮に存じますが、貴学及び関係機関に適任者がございましたら、下記により書類を添えてご推薦くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 1 応募資格 次のいずれの条件にも当てはまる者
  - (1)博士の学位を取得している者、または採用時までに博士の学位を取得する見込みがある者（採用時には博士の学位を取得済であることが必要です。）
  - (2)病理学、分子生物学あるいは関連分野で優れた研究と教育を主体的に進めることができる者
  - (3)医師免許を有する者
  - (4)死体解剖資格、病理専門医資格、分子病理専門医資格を有する者
- 2 職 名 助教 1名
- 3 職務内容 病理学、分子生物学に関連する基礎医学分野に関する教育及び研究以下の組織における、上記分野に関連する講義、実習及び研究指導等
  - ・ 学士課程における共通教育・専門教育
  - ・ 大学院医薬保健学総合研究科修士課程及び博士課程における専門教育
  - ・ 大学院先進予防医学研究科博士課程における専門教育  
(英語での授業をお願いすることがあります)
  - ・ 附属病院における病理解剖の執刀、附属病院の手術、生体検体の病理診断
- 4 採用予定 令和5年10月 1日以降のできるだけ早い日
- 5 公募期限 令和5年 7月26日(水) 17時 必着
- 6 任期等 任期付き(5年 再任可)【引き続いた本学在職歴を有する者については、当該期間を通算して10年を超えない範囲内での任期となります。】
  - ・ 再任審査事項
    - 1) 講義、実習、演習、研究指導等の教育活動
    - 2) 論文発表、学会発表、研究資金獲得状況等の研究活動
    - 3) 大学及び社会への貢献等

- 7 待 遇 就業規則等については、下記の URL をご覧下さい。  
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>  
※給与は、文部科学省における新たな年俸制の枠組みを踏まえ、年俸制を適用します。
- 8 必要書類 (1)推薦書 (必ずしも必要とはしない。ただし提出しない場合は問い合わせのできる2名の氏名、所属、住所、電話番号、電子メールアドレスを添付すること)  
(2)履歴書 1通 (様式1)  
(3)業績目録 1通 (様式2)  
(4)主要論文 3編 各編別刷7部 (コピー可)  
(5)研究・教育に関する実績と抱負 (2,000字以内、様式自由)  
※上記書類は、選考後においても返却しません。
- 9 書類提出先 〒920-8640 金沢市宝町13番1号  
金沢大学医薬保健研究域医学系長あて  
(親展とし、表書きに「分子細胞病理学研究分野担当助教応募」と朱書きし、郵送の場合は書留でお願いします)
- 10 本件問合せ先 事務担当：医薬保健系事務部総務課人事係長 池多  
TEL. 076-265-2112 FAX. 076-234-4202  
研究担当：医薬保健研究域医学系分子細胞病理学教授 前田 大地  
TEL. 076-265-2190  
e-mail: daichimaeda@med.kanazawa-u.ac.jp
- 11 付 記 (1)金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります。  
(2)金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは、下記URLをご覧ください。  
<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>  
(3)男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、本医学系では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。  
(4)選考の過程でご来学の上、ご講演を願うことがあります。(交通費の支給はありません)

以 上

様式 1

# 履 歴 書

現 住 所

TEL

e-mail:

ふりがな

氏 名

印

生年月日

年 月 日 生

現 職

TEL

学 歴 (高等学校入学以降)

免 許 年 月 日 番号 第 号

学 位 学 位 名 : 授与大学名 :

取得年月日 : 年 月 日

資 格

職 歴 (外国出張等についても記入してください)

加入学会 (期間, 学会名, 学術団体名, 役職名)

教育実績 (最近の5年度に限り, 担当授業科目, 大学院での研究指導学生数等)

その他特記事項 (教育ワークショップ等への参加, 学生生活指導, 管理運営, 兼任公職,  
社会貢献, 特許等)

賞 罰

科学研究費補助金・助成金等

(代表・分担別に, 種目・課題名・金額を含め記載のこと)

(用紙はA4版横書きとしてください)

写真

1. 縦 36~40 mm  
横 24~30 mm
2. 本人単身胸から上

様式 2

## 業 績 目 録

I 著 書

II 総 説

III 原 著 (研究分野ごとに類別し, 標題には, A, B, C, ……を冠する)

IV 学会発表等 (国際学会の場合は, 発表演者に限る。国内学会の場合は, 特別講演, 教育講演, シンポジウム及びワークショップ等に限る)

- 1 I～IIIについては, 著者名, 書名又は題名, 発表誌名, 巻, ページ (初ページ～終ページ), 発行所名, 発行年の記載があれば, 様式は自由。印刷中の論文は, 掲載証明書の写しを添付してください。
- 2 用紙は, A4版, 横書, タイプ浄書 (ワープロを含む) としてください。
- 3 著書, 総説, 原著, 学会発表等は年月日の新しいものから降順に番号を付記してください。また, 本人氏名には下線を付してください。さらに, corresponding authorとなっている論文には, それが分かるようにマークしてください。
- 4 論文別冊を添付したものは, ○印を付すとともに, 論文別冊にもその番号を明記してください。
- 5 学位論文はその旨付記してください。